

## 第3回真田地域協議会 会議録

日 時 平成18年12月25日(月) 午後7時から午後9時まで  
会 場 真田地域自治センター3階 講堂  
出席委員 一本鎗委員、今井委員、上原委員、大久保(秀)委員、大久保(芳)委員  
大熊委員、坂口委員、佐藤(和)委員、清水(悦)委員、清水(潤)委員  
橋詰委員、花岡委員、宮崎委員、宮下委員、山崎(壽)委員  
欠席委員 飯島委員、桑田委員、小金委員、佐藤(博)委員、山崎(隆)委員  
市側出席者 小市センター長、センター全課長、山宮政策企画担当係長  
渡辺センター次長兼地域振興課長、塚田係長、宮島主任

### 1 開会

(佐藤副会長)

### 2 会長あいさつ

(清水会長)

### 3 真田地域自治センター長あいさつ

(小市センター長)

### 4 諮問：第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について

### 5 協議事項

#### (1) 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について

- 総合計画の概要・策定手順等について説明- (山宮政策企画担当係長)

(会長)

只今の説明に対して質疑はありますか。

無いようですので、次に進みます。委員提出シートの説明をお願いします。

- 真田地域まちづくり方針 委員提出シートの説明- (塚田係長)

(会長)

具体的な作業として、委員提出シートを冬休みの宿題として提出いただくのことで、提出されたものを事務局でとりまとめいただき、第4回の協議会で絞込みを行い、第5回には多少訂正するといった計画であります。

真田地域の住民がこの答申の内容を見るわけですから、みなさんにご理解いただけるものを作成しなければいけないと思います。質問等あればお願いします。

(委員)

ものになりそうもないこと(実現が難しいと思われること)を入れても良い

のですか。

(山宮政策企画担当係長)

まちづくり方針については、地域としての要望を入れていただいて良いと考えます。将来に向けての構想を協議会の総意として7項目程度に集約していただいたものを総合計画に位置づけてまいります。

(委員)

シートにある新市建設計画に基づくまちづくり方針5項目は、相当練りあげられたものであると私は感じる。我々がシートに書くことは、細かいような内容でも構わないということですか。

(山宮政策企画担当係長)

細かい内容を書いていただいて結構です。

建設計画は2年前に策定された方針ですので、その間に地域の状況も変わってきていると思います。再度内容をご覧ください、新上田市として10ヶ月を経た今の真田地域について考えていただきたいと思います。真田地域の特性を活かし、新たな発展へ向けての土台づくりとなる計画、方針にしていただければと思います。

(会長)

シートにはできるだけ多くのことを出していただくことが良いと思う。

個人的な意見として、前段の「地域特性と発展の方向」の中で「福祉」という言葉が3つ出てきている。具体的な「まちづくり方針」には、福祉という言葉がでてきていないので、福祉関係の何方かに福祉のこと考えていただけたらと思います。

(委員)

文章をみると、「推進します」という表現になっていて、誰もが実現を期待できる「実現します」といった表現に直したらどうか。

また、図書館建設とか菅平の湿原等を具体的に明記したらどうか。

(委員)

おっしゃるように、表現方法が概念的になっています。地域協議会でご審議いただくなかで標記方法を変更することは可能かと思えます。ただ、実際に事業が行われる場合、毎年作成される実施計画で具体化されていることを申し添えます。また、他の地域協議会との標記方法についての調整もでてくるのが考えられます。

(会長)

他にありますか。

(委員)

前回会議で意見が多かった、144号線整備(上野バイパス整備)については、真田地域の住民全ての要望です。早期実現には、豊殿・神科地域協議会と共同して進めて行く課題だと思う。このような広域的で重要な問題は行政に書いていただきたい。

(会長)

提出シートにはそれぞれの委員の考えをキーワードで書いていただき、それ

を行政がまとめて文章化するといった手法が一番よいと考えます。  
前回に各委員が発言された意見(上野バイパス等)に共鳴すれば、それを書いていただければと思います。

他に質問ありますか。

(委員)

多くの委員は各種団体から推薦されているので、シートへの記入はその母体の集約意見を書くのか。

また、8つの協議会に跨る問題をどのように考えていったらよいか

(山宮政策企画担当係長)

選出母体からの意見を集約していただいても、委員個人の立場で書いていただいても構いません。ただ、最終的には地域協議会の総意として取りまとめていただきますので、様々なご意見を様々なお立場からいただきたいと考えています。

2点目の質問について、9協議会の連絡会が起ち上がると聞いています。この会の最後に事務局から説明があります。なお、今回は、あくまで各地域を中心としてご協議いただきたい。

(委員)

真田地域のもっと具体的なことを取り上げるべき。理念的なものはみんな変わらないと思う。

区長の立場として発言します。旧真田町から実施されている「地域づくり委員会」は、住民の生活に密着した要望をくみ上げてくれる貴重な機会。今年の委員会からの要望に対する回答に「全市的な必要性から・・・。」と書いてあった。確かに全市的な考え方も大切かと思うが、分権型の合併をしたのだから地域をさらに活かすことが大切。そのために、地域づくり委員会のような地域特有の機能を大切にしていきたい。

シート記入に際して、せっかく取りまとまっている各区の地域づくり委員会からの要望事項を参考資料として委員に示していただけないか。

(塚田係長)

各委員に参考資料としてお示します。

(委員)

地域づくり委員会の回答に「全市的な立場で必要性・・・。」というのはどのようなことか。16万全市民の立場からの必要性・緊急性なのか、それとも真田地域内のことなのか。

(塚田係長)

真田地域内で優先順位をつけて実施する事業もありますし、大きな事業は全市的な中での優先順位をつけるものもあります。

(委員)

真田地域まちづくり方針(たたき台)はすばらしい内容と思うが、本当に実現できる具体的な裏づけがあるのか危惧する。

(塚田係長)

総合計画の実現に向けての手段や手法は、予算を伴う実施計画で具体化されていくものと考えます。具体化する根拠としてこの総合計画(真田地域のまちづくり方針)を掲げる必要があります。

(会長)

例えば、「創意と工夫の地域づくりの推進」の文章なかに、「地域づくり委員会を継続する」のと考えを書き加えるということによいのではないか。それを冬休みの宿題としてみなさんと考えて参りましょう。

(2) その他

- 各委員から意見発表 -

(清水会長)

前回、半分の委員のみなさんにご意見をお伺いしましたので、残りの委員のから各諸団体の悩みや課題などを発表していただければと思います。

(委員)

農業、森林の持つ景観とか水とかの多面的な機能を考えるとき、今の農業は荒廃農地がどんどん増えて困っている。また、農業を担っている方が60代、70代と高齢化していること等、真田地域の農業が将来どうなるのか心配している。このまちづくり方針のような農業振興が実現すればとてもうれしいと思っている。

また、今熊とか猪などの有害鳥獣が出てきて、農業をする上でも大変になっているが、これらの駆除に対する補助金も少なくなってきて、いずれは無くなってしまうのか。

災害によって被害がうけた作業道がいつになったら直してもらえるのか。

(委員)

3保育所の保護者会で話し合っているが、それぞれの保育所によって考え方や意見が違う。真田保育園、傍陽保育園では現在通園バスが無料となっているが、いずれ有料になってしまうのかと心配している。菅平保育園にしてもいろいろ問題点を抱えている。今後、旧真田町で良かったものは無くさないでほしい。合併して市全体に合わせていくのは当然かとも思うが、よいものは無くさないでほしい。

(委員)

新上田市の今年度の財政状況で一般会計予算は599億円、特別会計が420億円。このうち借り入れ金額が770億円ということになっていて、上田になって大変に厳しいと感じている。また、特別会計の中で医療3会計が409億円で大きく、一般会計からの繰入金か約11億円で、上田は若い若いと思っていたが、中高年齢になってきているのか。そうすると市の借金777億円の19年度ピークで楽になるのかと思ったら、合併特例債の346億円が出てきて、今後もさらに財政の厳しさを感じる。旧真田町が上田市になって良かったが、財政的な面で不安を感じる。

他の市町村に比べて上田市は外国人が6141人と県下で一番多い。これらの方と市が、今後どんなふうに関っていくのか。例えば20歳以上が2000人在住しているので、これらの人が産業・経済にどのように関わってくるのか。例えば、農業を担っていけるような人が真田地域に入ってくるのかというようなことも考えていかななくてはいけない。

平成17年度の自殺者は、10万人当たり253人となっている。上田市もそういう点では多いのかと感じる。

上田市地域は65歳以上の就農者が27%と非常に高い。元気なお年寄りが

頑張っていてくれている姿が見えるので、真田地域として農業問題を頑張っていかなければと思う。

(委員)

交通の確保ということで、上田のオレンジバスが真田地域までの乗り入れができないかという思いがある。

真田地域の医療体制、特に菅平の医療問題は上田市の中でも課題となっていると聞く。お医者さんをよい形で迎え入れることができないか。

ふれあいさなだ館の経営が厳しいようだが、住民の福祉・健康・ふれあいの場所として地域に大変貢献している。どのように経営を改善したらよいのかを考え、民営化はしないで欲しい。

合併ですり併せされた事業として、合併特例債による図書館建設は早い時期にお願いしたい。

(委員)

区長の立場として、行政には住民のささやかな願いを聞いて欲しいと思っている。

合併に際し作成された、建設計画のより早い実現を望んでいる。基本構想があつて基本計画があつて実施計画あるということにこだわらなくてよいと考える。基本構想に時間を費やすのではなく、具体的な実施計画等に様々な要望を取り入れてもらいたい。

(委員)

保育所への入所については、この少子化時代、全て上田市に統一するのではなく、地域の実情に合った入所方法を考えてほしい。私も詳しく分からない部分もあるので教えていただきたい。

国民健康保険証のことですが、佐久市では17年度からカード式になって、家族が個々にカードを持っていると聞く。便利なカード式にならないのか。

(若林健康福祉課長)

合併しまして保育園の所管は本庁舎の保育課の所管となりましたが、入所関係の事務は、住民の皆さんの利便性を考えてセンター健康福祉課で所管しています。私の承知している範囲では、合併によって入所決定の調査項目などが以前より細かくなっていますが、申し込みされた方のほとんど入所されています。

(清水市民生活課長)

県下でカード化しているのは、佐久市だけと聞いています。市もカード化の意向はありますが、問題があります。一家全員がカードを持つということになると、家族全員が国民健康保険を辞める場合、家族全員のカードが必要になるといった手続的な問題。また、世帯に1枚だったものが、家族全員分のカードを作ることによって生じる、多額な費用(予算)の問題があります。

(委員)

送っていただいた市の住民アンケート結果で真田地域の状況や課題がよく分かる。

先般の市議会において、予算執行権をセンター長に大幅に認めるべきとの真田地域出身の議員からの質問があった。市長の答弁は、これから地域協議会の意見を聞いて考えるとのことであった。このことばかりでなく、私たち協議会が頑張らなければ、真田地域は良くならない。

(会長)

この協議会の存在価値があるようしっかりやって参りましょう。

- (仮称)上田市地域協議会連絡会議の設置について説明 - (塚田係長)

(会長)

只今の説明について質疑はありますが。

(委員)

連絡会議はとても大切なものと考えます。無報酬とはおかしいのではないですか。

(塚田係長)

連絡会議は、地域協議会の自主性により設置されたものとして今回のような形になりました。

(会長)

みなさんがよろしければ、ボランティアで私と佐藤副会長が連絡会議に出席させていただきます。

## 6 その他

(会長)

それでは、今後の日程について事務局からお願いします。

(塚田係長)

今回の諮問案件の答申期限が2月5日とされています。1月中に2回の会議を実施するという厳しい日程となっていますので、事務局から第4回、第5回の協議会の日時を提案させていただきます。1月16日(火)、1月30日(火)でよろしいでしょうか。

(会長)

よろしいでしょうか。よろしければ、改めて通知させていただきます。事務局他にありますか。

(塚田係長)

委員提出シートの提出は、1月10日となっておりますのでよろしくお願いいたします。また、今回上田市の市章を配布させていただきましたので委員の皆さんにつけていただければと思います。

(会長)

委員提出シートを作成するにあたって、今日の会議録を至急送っていただけますか。

(塚田係長)

作成して送付します。

(会長)

他に無ければ、これで議事を終了します。

## 7 閉会

(佐藤副会長)